

JCB会員
30名様
限定

宝塚歌劇星組公演鑑賞と

ヒルトン東京お台場で愉しむ会席料理



©宝塚歌劇団 Photographer/道 忠之

ミュージカル

『阿修羅城の瞳』

原作／劇団☆新感線「阿修羅城の瞳」(作・中島 かずき)

原作演出／いのうえひでのり

潤色・上演台本・演出／小柳 奈穂子

次々と革新的な作品を生み出し、絶大な人気を誇る劇団☆新感線の代表作の一つ「阿修羅城の瞳」。人と鬼との壮絶な恋物語を、いのうえ歌舞伎と呼ばれるケレン味溢れるダイナミックな演出で描き上げた伝説の作品が、宝塚歌劇の舞台に登場致します。劇団☆新感線と宝塚歌劇による、初のコラボレーション作品として、礼真琴を中心とした星組が挑む、究極のエンターテインメント大作の誕生にご期待ください。

人を喰らう鬼が密かに跋扈する、文化・文政期の江戸の街。千年余の長きにわたる人と鬼との闘いの果て、鬼の王・阿修羅の目覚めの時が近付いていた。鬼を祓うため幕府が組織した“鬼御門”的腕利きとして“鬼殺し”と称された病葉出門は、五年前のある事件を契機に鬼御門を辞め、鶴屋南北一座に身を寄せていた。ある時、鬼御門に追われる謎の女つばきを匿うこととなる出門。不思議な縁に導かれ出会った二人は、惹かれ合っていくが…。

ファンタジック・タペストリー

『エスペラント!』

作・演出／生田 大和

古今東西、人類が様々な形で抱いてきた希望・願い・祈り。

かつて存在した筈の、失われた美を追い求める人。人間の想像力から生み出された物語の人々。大都会に聳え立つ摩天楼の片隅で燃り、惑う人々……叶えられた願い、届かなかった祈り、時に飽く無き欲望へと姿を変える希望、そしてその先の未来まで。心を開けば見えてくる、この地球上に広がる無数の美しき世界で、人々の希望と願い、祈りが交錯する時、エスペラント(=希望を胸に抱く人)たちは生まれ続けるのだ…

どこか懐かしく、それでいて新しく、どこまでも宝塚。パリ・レビューでもなく、アメリカン・レビューでもない。110年の伝統の、その先へと続く、宝塚レビューの新たな時代へ。この青い星の上で繙がっていく、願いと祈り、そして希望を讃えて、礼真琴と共に綴るファンタジック・タペストリー!

なお、この作品の宝塚大劇場公演において、第111期生が初舞台を踏みます。

出演:礼 真琴 ほか

旅行代金

おひとり様
(税込)

ヒルトン東京お台場にて会席料理の昼食付

SS席
プラン

39,000円

1階席前から7列目以内を保証

座席位置はお選びいただけません。

出発日

2025年7月13日(日)(日帰り)

行程

11:30 東京駅出発(丸の内南口) 12:00頃

ヒルトン東京お台場(日本料理「さくら」にて日本庭園を眺めながらの会席料理の昼食) 東京宝塚劇場 宝塚歌劇

星組公演鑑賞(15:30開演) 19:00 東京駅着・解散

…バスにて移動となります。

発着地	出発	終了予定
東京駅 丸の内南口	11:30	19:00



ヒルトン東京お台場 日本料理「さくら」料理(イメージ)

ヒルトン東京お台場

緑豊かな日本庭園を望む数寄屋造りの店内で、四季折々の旬の食材を取り入れた会席料理をお楽しみいただけます。日本料理の基本や伝統に忠実でありながら、江戸料理に現代の要素を融合させた料理の数々をご準備しております。

※食事内容は季節・仕入状況等により異なります。

■集合・解散地:東京駅 ■利用バス会社:はとバス ■食事条件:昼1回

■最少催行人員:20名様 ■添乗員:同行いたしませんが、バスガイドがご案内します。

※チケット単体のお申し込みは承っていません。 ※3歳以下の子さまはご参加いただけません。
※上演時間は、幕間休憩を含めて約3時間です。

